資料3

飛騨高山

全 体 説 明 資 料

説明項目

1．これまでの取組み（～令和４年度）

（1）高山駅周辺地区のまちづくりの経過

（2）駅西地区の状況

（3）駅西地区のまちづくりのスケジュール

（4）構想策定に係る市民意見（令和４年度の取組み）

（5）駅西地区の課題

（6）高山駅西地区まちづくり構想

2．今後の取組み（令和５年度～）

（1）令和５年度のスケジュール

（2）前提条件の整理

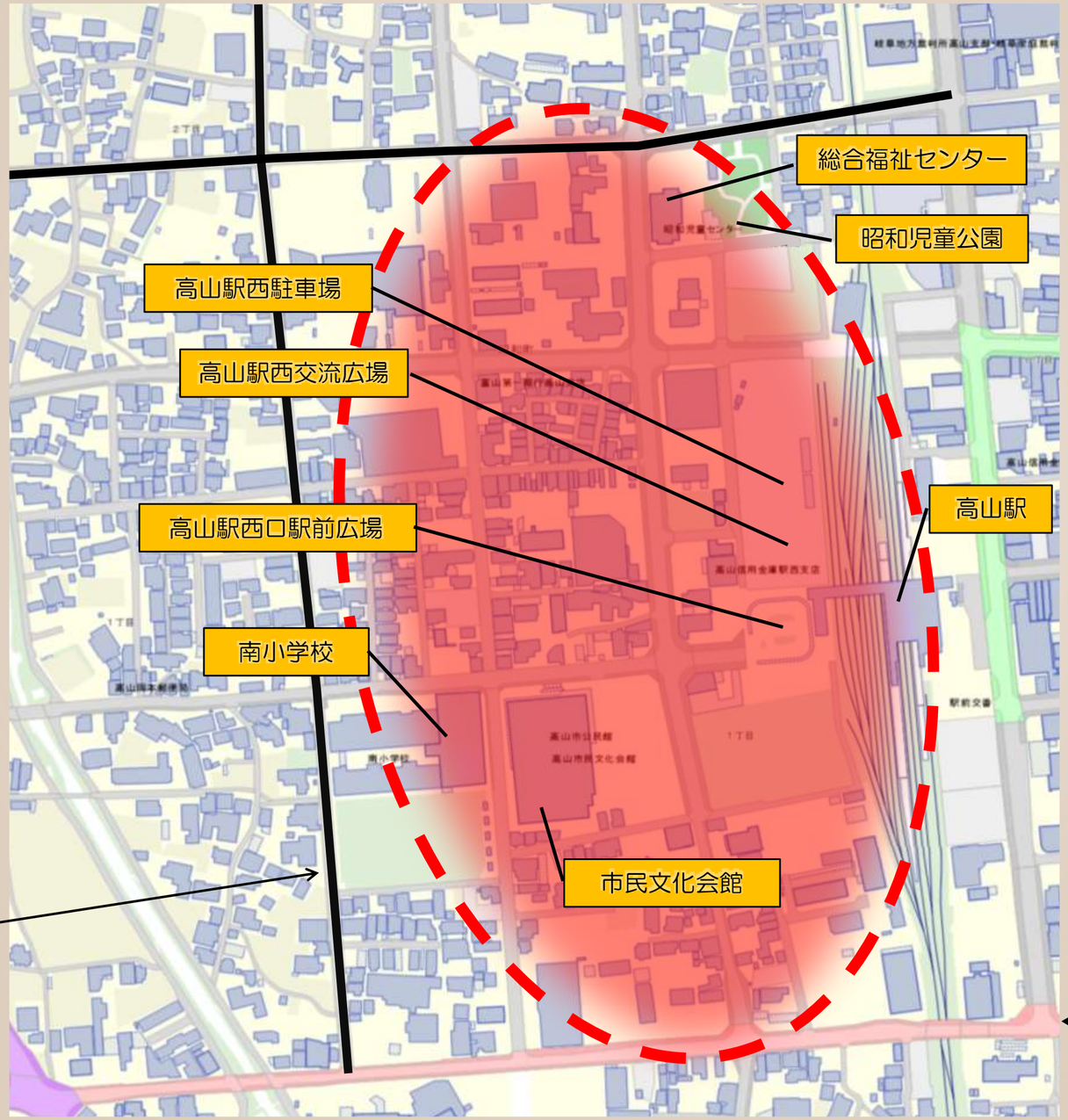
高山駅周辺地区のまちづくりの経過

飛騨高山

平成１０年	高山駅周辺土地区画整理事業認可
平成１５年	シビックコア地区整備計画策定
平成１７年	**昭和児童公園（愛称：ポッポ公園）完成**
平成２１年	**JRアンダーパス開通**
平成２５年	総合交流センター基本構想策定
平成２８年	**JR高山駅新駅舎、東西自由通路完成**
	駅西口駅前広場供用開始
平成２９年	駅西駐車場、駅西自転車駐輪場供用開始
平成３０年	駅西交流広場、駅東口駅前広場供用開始
	駅東自転車駐車場供用開始
令和２年	高山地方合同庁舎供用開始

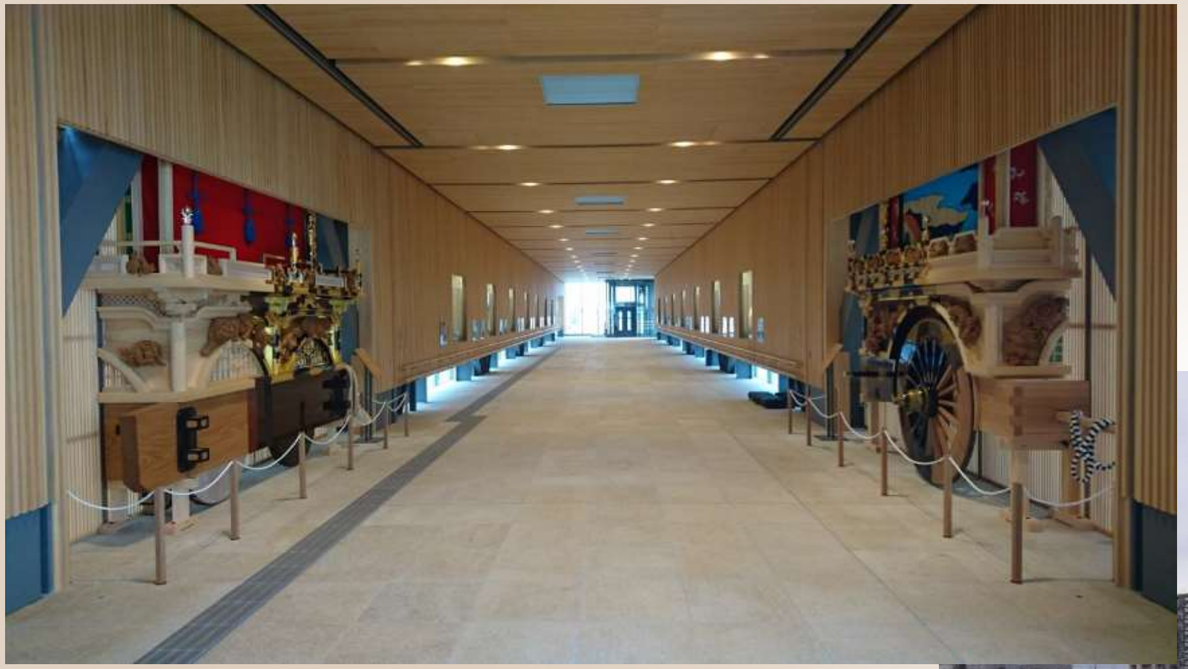
駅西地区の状況

飛騨高山



駅西地区の状況

高山駅舎（東西自由通路）やアンダーパスの整備によって、
高山駅の東と西の行き来がしやすくなった



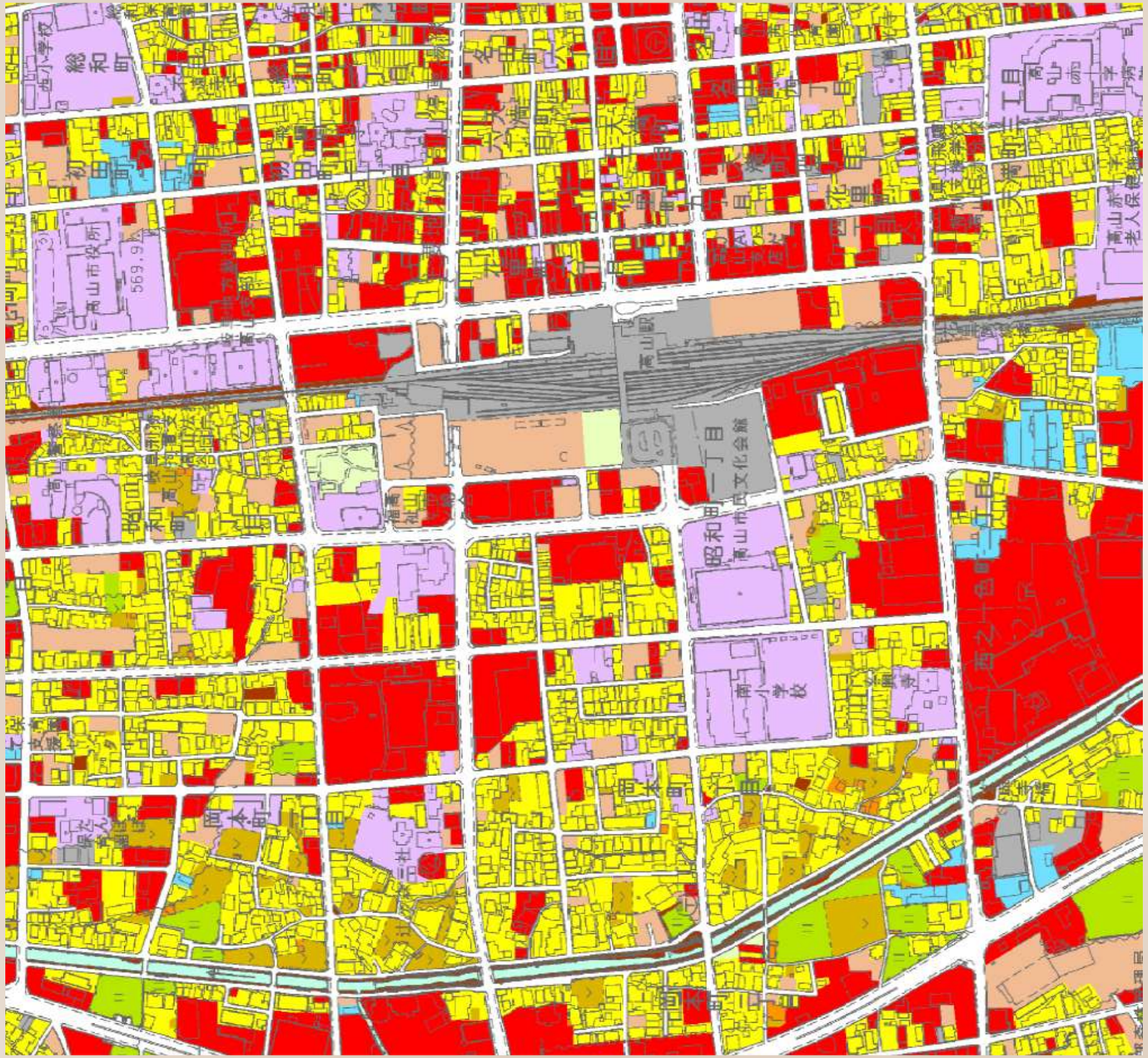
駅西地区の状況

市民文化会館と総合福祉センターは老朽化してきている

高山市民文化会館
昭和57年建築
（39年経過）

高山市総合福祉センター
昭和60年建築（37年経過）

駅西地区の状況



駅やバスターミナル、国道などに近いため、比較的大規模な商業利用が点在しているが、住宅利用も多い

- 商業利用
- 住宅利用
- 公共的施設

駅西地区の状況

飛騨高山

大きなイベントが開催される場合に、駐車場の混雑や渋滞等が発生

駅西地区まちづくりのスケジュール

飛騨高山

現　在

事業実施

構想に基づく各種取組みの検討

・施設整備に係る基本計画の策定
・施設の整備
・都市計画や公共交通の見直し
・道路の整備　など

まちづくり構想策定（令和５年３月）

・将来のまちの姿やその実現に向けたまちづくりの方針を示すもの

まちづくり構想の方向性の明示（令和４年２月）

・構想策定に向けた基本的な考え方
・方向性や取り組み案　など

構想策定に係る市民意見（令和4年度の取組み）

飛騨高山

（1） 意見募集

市の示した「高山駅西まちづくり構想策定に向けた基本的な考え方等」に対する意見、要望等を募集

期間　～6月30日

件数　9人

意見概要

・ワクワク感を抱いてもらえる場所としてほしい

・見ても遊んでも楽しいまちになってほしい

・カフェなどの飲食店がほしい

・駅に近いショッピングモールがほしい

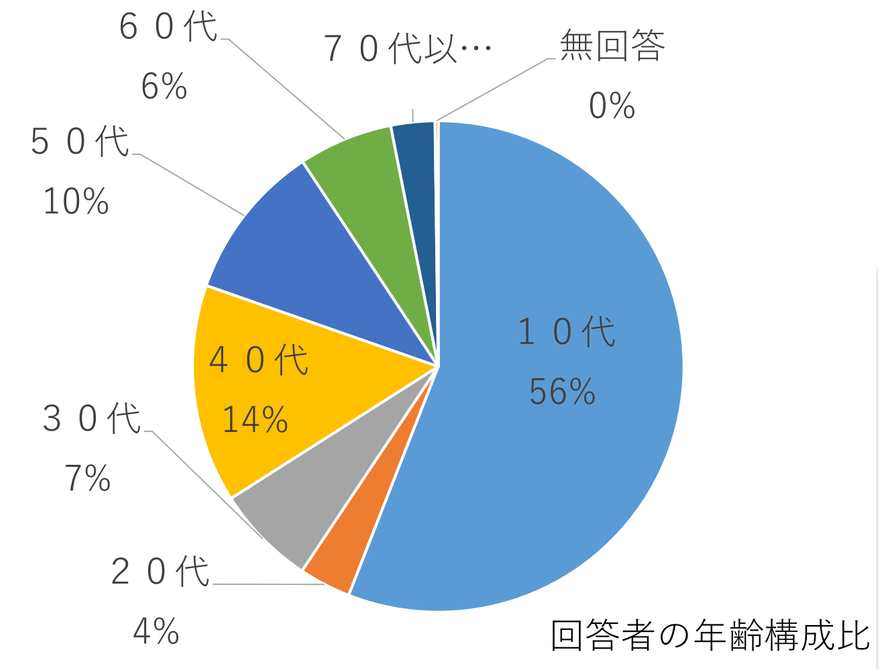
ほか

（2） 市民アンケート

今後の高山駅西地区のまちづくりに向けて期待する機能等について市民意識を調査

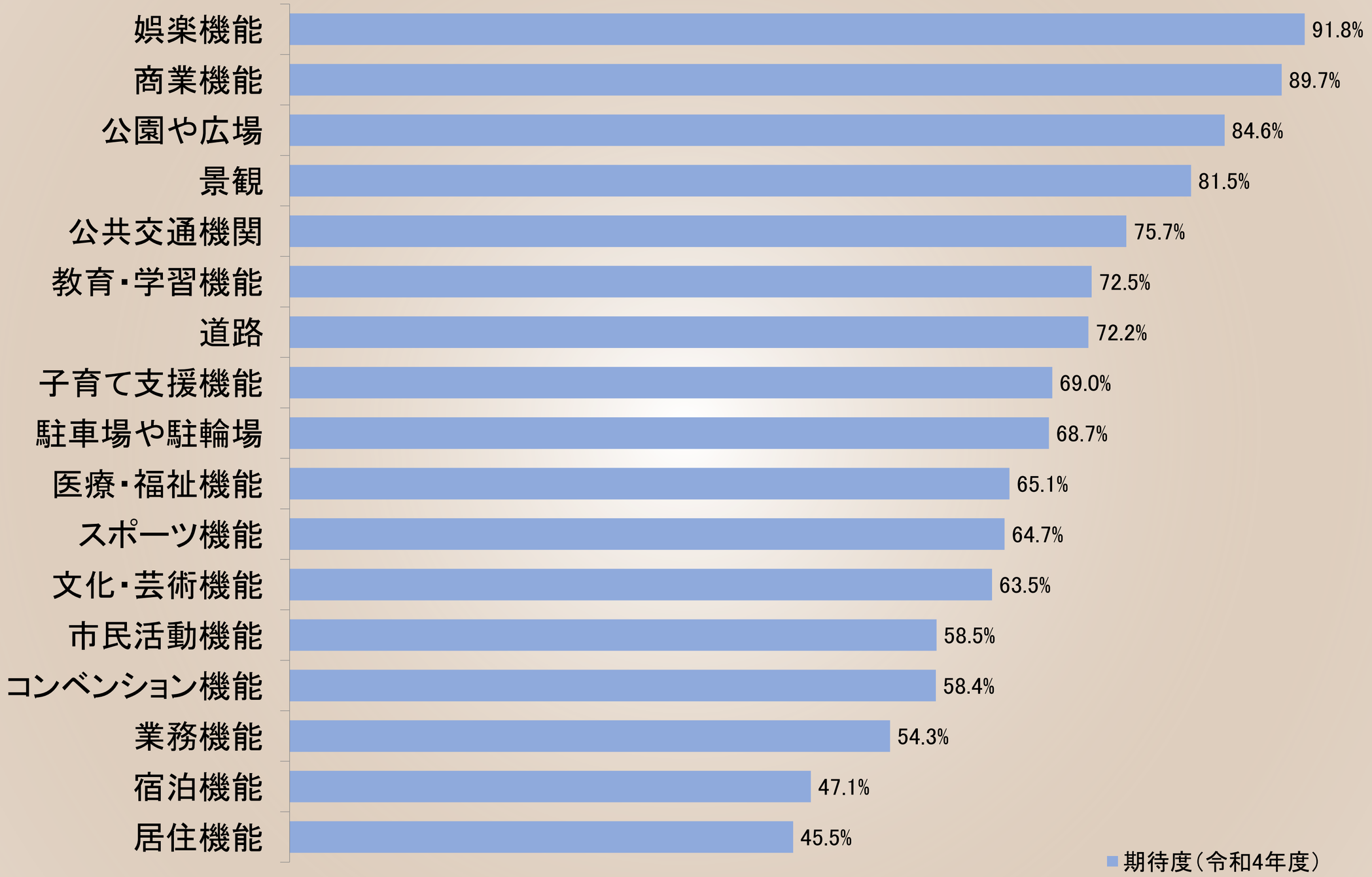
期間　6月1日～7月13日

件数　967人



意見概要

- 「娯楽機能」は、映画館や複合的遊戯施設がほしいという意見があった
- 「商業施設」はショッピングセンターがほしい、飲食店、本屋や雑貨店が欲しいという意見があった
- 「公園や広場」は、大規模な公園がほしい、屋内型の子どもの遊び場がほしいという意見があった


娯楽機能
91.8%
商業機能
89.7%
公園や広場
84.6%
景観
81.5%
公共交通機関
75.7%
教育・学習機能
72.5%
道路
72.2%
子育て支援機能
69.0%
駐車場や駐輪場
68.7%
医療・福祉機能
65.1%
スポーツ機能
64.7%
文化・芸術機能
63.5%
市民活動機能
58.5%
コンベンション機能
58.4%
業務機能
54.3%
宿泊機能
47.1%
居住機能
45.5%
期待度（令和4年度）

テキストマイニングによるアンケート分析

元の文章を単語や文節で区切り、「出現頻度」などを解析することで、有用な情報を取り出す手法

構想策定に係る市民意見（令和4年度の取組み）

飛騨高山

（3） ワークショップ

現状や課題を共有するとともに、まちづくりのコンセプトや機能などを検討及び提案するため、公募市民によるワークショップを開催

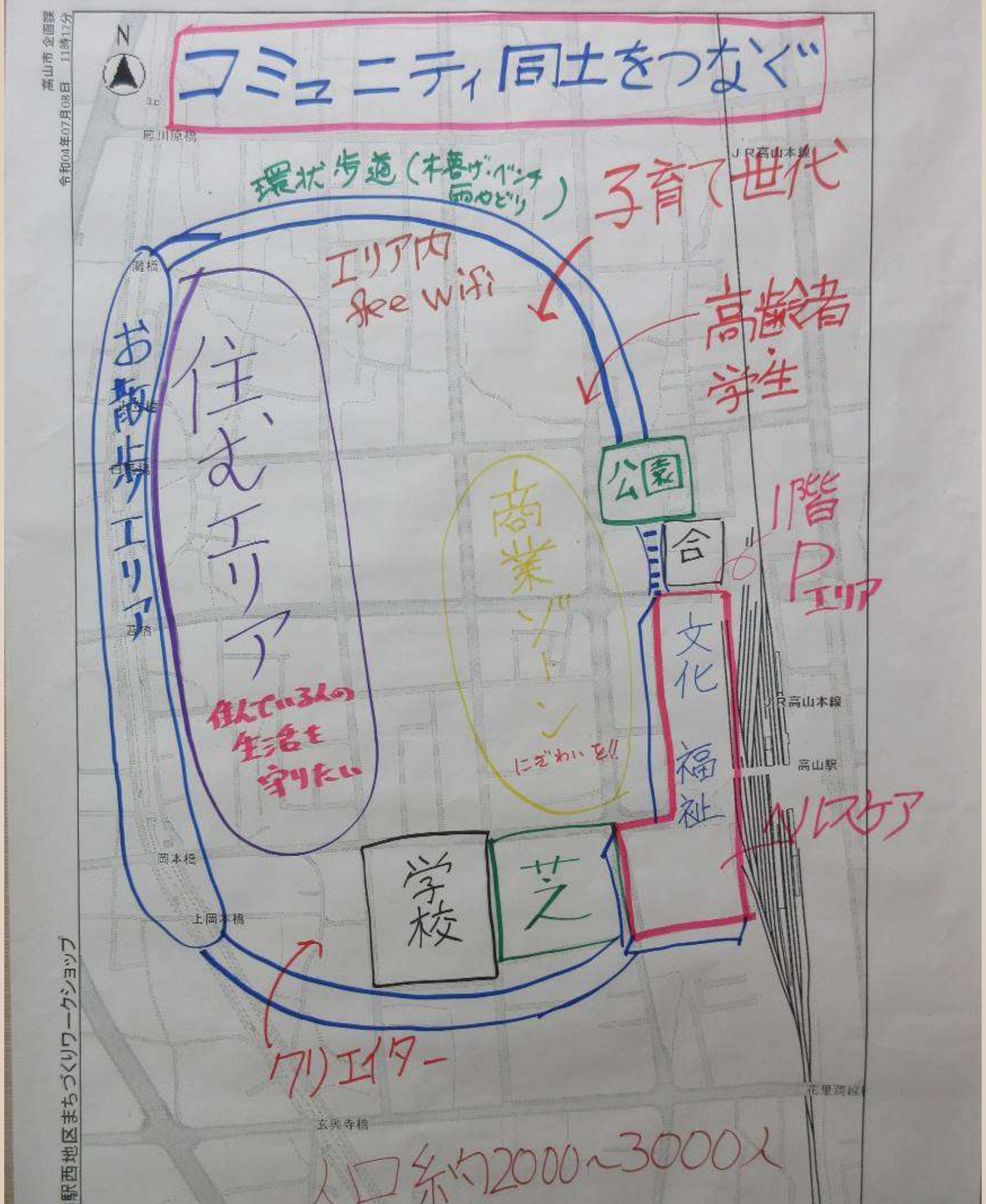
参加者　１８名（１０代から７０代まで）

内容

〇第１回　６月２６日　～いまを知ろう～
　構想の方向性を説明、駅西地区をまち歩き

〇第２回　７月４日　～みんなの意見を聴こう～
　グループワークにより駅西地区の現状や課題等について意見交換

〇第３回　７月１１日　～未来の姿をえがこう～
　グループワークにより、新たなまちづくりのコンセプト、その実現に向けた具体的な取組みについてとりまとめ発表


コミュニティ同士をつなぐ
環状歩道（木製ベンチ 両サイドリ）
子育て世代
エリア内 free wifi
高齢者
学生
お散歩エリア
住むエリア
住んでいるひの生活を守りたい
商業ゾーン
にぎわいを!!
公園
合
1階 Pエリア
文化福祉
リハスケア
学校
芝
クリエイター
人口約2000～3000人
JR高山本線
高山駅
高山市 企画課
令和04年07月08日 11時12分
駅西地区まちづくりワークショップ

—赤ちゃんからお年寄までが憩う—
『市民が息づくまち』
合同庁舎
ランニングコース
高山駅白山口
(さるぼぼ口)
シビック・コア・ビル
アンダーパス
WC
ポッポ公園
立体駐車場
モニュメント
連絡通路
ボーリング
(渋滞課題)
ゲオ
ほっこり通り
空き家を活用した
隠れ家的カフェ
エリア
ほんぢが商店街
MAX 20m
旧文化会館
立体駐車場
TAXI
(ナヤき通り)
BOSS
アスモ
南小学校
9F
会議室・交流スペース
(NEC・NTTなど)
企業出資のIT・ICT・DXサテライトセンター
5F
保健センター機能 赤ちゃん教室・産後ケア
妊婦相談
4F
吹き抜け
福祉センター機能の階 障がい者・お年寄
3F
吹き抜け
子育て親子・子ども・学生のひろば
(児童センター
ファミサポ。
高校生が
憩えるスペース
with)
2F
大ホール・小ホール
1F
ストリートピアノ
高山の美術品・工芸品
展示ギャラリー

1番住みたい人気エリアに！

＜交通政策＞

◎道路
- 自転車、歩行者が安全
- 雪まちがしやすい
（北向き対策…も参考）

◎交通手段
- 新しい交通システム
（ミニバスシステム、パーク&ライド）

＜施設整備＞

◎文化会館新設
福祉センター統合
（立体駐車場）
※制約が無く利用しやすい

＜長期的課題＞

◎歩いて楽しい街づくり
◎電線の地中化
◎ふらっと寄れる広場
◎チャレンジできる街

☆街の中心となる広場
※緑地化
※イベント（雨天可能）
※文化拠点

◎人材育成
（地元の方達の活躍）

（4）　①団体・事業者へのまちづくりの構想説明、意見交換

団体・事業者などのまちづくりに関わる多様な主体に対し構想の方向性などを説明したほか、意見交換を実施

内容　　7団体　計87名

団体　　みなみまちづくり協議会
（一社）高山市文化協会
高山市商店街振興組合連合会
（社福）高山市社会福祉協議会
濃飛乗合自動車（株）
岐阜県タクシー協会飛騨支部
高山商工会議所青年部会

意見概要

・文化会館と福祉センターを核とした複合施設を中心としたまちづくり
・どこから誰でも来やすい、来てみたいと思えるしかけづくり
・市による民有地確保と活用
・まち全体の視点から、駅西・駅東をどうするかべきか考える
・自由通路の有効活用
・市民のためのまちづくり、居住機能というイメージ
・高山に戻ってきたい、残りたい、移住者を取り込む取組み
・パークアンドライドの推進
・駅西ロータリーなどでの渋滞対策
・個々の機能ではなく、面として捉える
・緑化の推進（木の活用）　など

（4）　②南小学校授業開催

駅西地区が校区となる南小学校において、まちづくりにかかる授業を実施

開催日　　7月13日

参加者　　児童45名

内容　　ⅰ）高山駅西地区まちづくりの概要説明

・まちづくりって何？

・駅西地区の今と昔

ⅱ）グループ交流

・班ごとに駅西地区のいいところや、まちの目標について交流

あたたかい心の花ときかせ
自分づくりをすすめる子
Friend
ハンドサイン反応
Slow down
and live

あたたかい心の花ときかせ
自分づくりをすすめる子
Friend
ハンドサイン反応

意見概要

○こんな「まち」にしたい

・誰もが楽しいと思えるまち
・にぎやかなまち
・住みやすいまち
・安全に移動、行動できるまち

○駅西地区にあるといいこと・もの

・商業・娯楽施設（映画館、ラウンドワン、ショッピングセンターほか）
・児童館
・見通しのいい道路、信号
・大きな公園
・スポーツ施設（ランニング専用コースなど）

（5） 事業者提案

まちづくり構想における事業者との意見交換等を実施

件数　３件（令和３年度PPP事業者研修会等の参加者等）

主な意見

・駅西地区全体のエリアマネジメントの検討を行い、具体的な成果目標を定めてまちづくりをすすめるといい

・商業・娯楽機能は事業者との意見交換の中で実現可能性を探っていくのが良いが、人口規模等を踏まえると駅西地区は民間による投資先としての魅力は少ない

・同程度の人口規模の自治体と比べて、観光都市としてのブランドがあるため、一般的でない他とは異なった提案は可能である

駅西地区の課題

①将来を見据えた公的機能の整理・集約

・老朽化した市民文化会館などの再建築や大規模改修

・将来の人口動態など長期的な視点による配置、規模の適正化

②夢や希望を叶える多彩な魅力の創出

・子どもや若者が活躍し、楽しむことができる機能の充実

・官民連携による効果的かつ効率的な運用の検討

③高山らしい景観との調和

・駅西地区に適した景観の保全・創出を検討

・周辺の里山や飛騨山脈など、市街地から見える眺望に配慮

④ゆとりある空間の確保

・公園や広場などのオープンスペースの配置

・利便性を活かしたイベント開催

駅西地区の課題

飛騨高山

⑤交通結節点としての機能向上

・待ち時間を有効に活用できる機能など公共交通利用者の利便性の向上

・パークアンドライドや駐車場需要への対応、車両の円滑なアクセスの確保

⑥地域内回遊性の向上

・人の流れを意識した動線の確保や雨天・積雪時にも移動しやすい施設整備

・駅東地区との回遊性や相乗効果を生み出すしくみ

⑦情報通信技術の活用と魅力の発信

・デジタル技術がもたらす社会のイノベーションを図る

・飛騨高山の文化や技術といった魅力や価値を発信

高山駅西地区まちづくり構想

飛騨高山

まち全体の大きな方向性

まちづくり構想

令和5年3月策定

基本方針

- 地区の役割
- まちづくりのコンセプト

まちづくりの方向性と取り組み

- 方向性1　ふれあい
- 方向性2　にぎわい
- 方向性3　つながり

具体的な取組み

具体的な取組み（検討中）

- 都市計画用途地域の見直し
- 公共交通の利便性向上
- 道路整備　など

複合・多機能施設の考え方

- 基本的な考え方
- 機能の考え方
- 配置の考え方
- 留意事項・課題

令和5年度策定予定

複合・多機能施設整備基本計画（仮称）

複合・多機能施設

- 具体的な機能
- 配置　ほか

基本方針（地区の役割）

駅東西の役割の明確化

☞ 高山駅東西の東西が相互に魅力を高め、地区間の周遊性や連動性を向上させるため、役割をそれぞれ明確にしてまちづくりをすすめる必要がある

駅周辺の状況

駅東地区

古い町並や商店街を有し、国内外から多くの観光客が訪れる地区

高山駅

駅西地区

市民利用を主目的とする公共施設や商業施設を有する地区

各地区の役割

これまで培ってきた歴史と文化を大切にしつつ、市民生活と調和を図りながらさらなる発展をすすめる

利便性の高い住環境の形成に加え、交通の利便性を活かした多様な交流など、市民生活に主眼をおいたまちづくりをすすめる

まちづくりのコンセプト

ふれあい×にぎわい×つながり

～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる駅西エリア～

- いきいきと遊ぶ子ども、果敢にチャレンジ・活動する若者、憩いやくつろぎを求める人、自らの活動や成果を伝えたい人など、様々な夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる市民があふれるエリアを目指します。

☞市民や事業者、関係団体など多様な主体との連携

☞地区の特性を活かしたふれあい、にぎわいの空間の充実

☞交通利便性の向上など、人と人、人と地域、地域と地域のつながりの向上

方向性1　「ふれあい」のまちづくり　～市民交流・生活支援～　≪主な課題①、②≫

老朽化している市民文化会館、総合福祉センターの再配置及び他の機能との連携に向けた複合・多機能施設の整備により、人々が集い、**ふれあう**ことのできるまちづくりをすすめます。

1．多くの市民が集う交流・活動拠点の形成

- 芸術鑑賞などの文化芸術に触れることができるスペースの確保
- 待ち時間に気軽に立ち寄り、自由に学び休憩できる学習・滞在空間の確保
- 誰もが楽しみ、生きがいを持って活動や交流ができる多目的スペースの確保
- 学生や若者等様々な活動を支援・後押しできる環境の整備
- ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが安心して利用できる環境の整備

2．子育てなど市民生活を支える支援拠点の形成

- 子どもの健やかな成長を育む遊び場の整備
- 事業者と連携した多様な相談や生活支援機能の配置
- 子育て世帯の負担軽減につながる各種サービスの配置
- 豪雨豪雪などの自然災害から市民や観光客を守る防災機能の確保

方向性2　「にぎわい」のまちづくり　～利便性・住環境～　≪主な課題②、③、④≫

市民、事業者、団体などまちづくりに関わる多様な主体との連携を深め、事業活動、地域活動の活性化や住環境と商業機能の調和を通して、住みやすさのなかにも**にぎわい**のあるまちづくりをすすめます。

1. 魅力あふれるにぎわい創出拠点の形成
   - 市民ニーズや地区のバランス等を捉えた商業機能・娯楽機能等の配置
   - 地域に適した機能誘導のための都市計画用途地域の見直し等の検討
   - 高山市のシンボルとなるオープンスペースの確保

2. 美しい景観と緑のある生活拠点の形成
   - 街路樹、まちかどスポットの整備
   - ゆとりある都市空間と憩いの場を創出する緑地等の整備
   - 景観重点区域や景観基準の変更等の検討

方向性3　「つながり」のまちづくり　～公共交通・情報～　≪主な課題⑤、⑥、⑦≫

市内各地からの交通利便性の向上や高山駅東地区を含めた多様な機能との連動などハード・ソフト両面から面的に活性化を図るとともに、情報通信技術の活用も含め、飛騨高山の存在感を発信していく拠点として、様々な人や地域が関わり、つながっていくまちづくりをすすめます。

1. 誰もが快適に利用できる交通拠点の形成
   - 事業者と連携したどこからでも訪れやすい交通機能の整理
   - 面的なにぎわいとをもたらす、歩いて回遊できるしかけづくり
   - 市街地への車両流入抑制にもつながる十分な駐車スペースの確保
   - 円滑な車両通行に向けたアクセス道路の整備

2. 高山の存在感を伝える情報拠点の形成
   - 市の地場産業や文化芸術活動の成果などを展示できるスペースの確保
   - 情報通信技術を活用した各地とつながりを持てる機能の整備
   - VRなどの先端技術を活用した様々な体験や活動ができるスペースの確保

複合・多機能施設の考え方

①基本的な考え方

・市民文化会館・市公民館、総合福祉センターなどの複合化・多機能化を基本とする

・駅西から離れている勤労青少年ホームなども含めた複合化を検討する

・現施設の機能の再配置や規模を検討するほか、新たな機能の付加による利便性の向上を図る

複合・多機能施設の考え方

飛騨高山

②機能の考え方

・公的サービス機能を核とし、民間サービス機能の追加を検討する
・民間サービス機能は、様々な事業者との意見交換を通して、実現可能性を探っていく

公的サービス機能

【文化芸術】
ホールやギャラリーなどの文化芸術に触れることができるスペース
・コンサート、演劇などの鑑賞
・芸術作品、ものづくり技術の展示

【福祉・健康】
市民の暮らしや健康を支援するスペース
・生活相談や支援
・各種団体の会議、行事
・健康教室

【生涯学習・市民活動】
学びや趣味などの活動を通して、多様な人々が交流できるスペース
・工作、料理、創作活動
・先端技術の体験、活用
・楽器の演奏やコーラス
・図書館の分館、学習

【子育て支援】
子どもの育みや子育て世代を支えるスペース
・屋内型子どもの遊び場
・妊婦から子育てまで連続したサポート
・親同士の交流

【滞在・休憩】
気軽に立ち寄り、休憩滞在ができるスペース
・待ち時間を利用した学習やテレワーク
・気軽にくつろげる待合所
・災害時の一時滞在
・イベント情報の発信

連携

民間サービス機能

【娯楽】
遊戯など各種サービスを行うスペース

【商業】
物販や飲食などを行うスペース

③配置の考え方

④留意事項・課題

☞複合化・集約化のリスク

複合化・集約化は、効率的な運営には重要な視点。しかし、施設利用者の集中による交通渋滞や利用制限など、利便性の低下を招く可能性もあることに留意する

☞機能間の連携促進

それぞれの機能の充実のほか、機能の組み合わせや相乗効果など、屋外の公園、駐車場・駐輪場の再配置も含めて、連携・連動を意識する

☞市庁舎等との機能整理

生活相談、子育てや障がい者、高齢者の支援などの市役所の事業や業務を含めて整理する必要がある

説明項目

１．これまでの取組み（～令和４年度）

（１）高山駅周辺地区のまちづくりの経過

（２）駅西地区の状況

（３）駅西地区のまちづくりのスケジュール

（４）構想策定に係る市民意見（令和４年度の取組み）

（５）駅西地区の課題

（６）高山駅西地区まちづくり構想

２．今後の取組み（令和５年度～）

（１）令和５年度のスケジュール

（２）前提条件の整理

令和5年度のスケジュール

飛騨高山

	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
全体の流れ	業務委託発注		整備案の作成			民間事業者との対話・調査			骨子作成		本文策定	
整備基本計画策定調査業務委託												
整備案の作成支援（機能・規模検討、計画図等の作成）												
民間事業者との対話・調査（市場調査・官民対話）												
計画策定												
市民意見の収集												
アンケート・ワークショップ等												
団体等との意見交換												
パブリックコメント												
検討会議					①		②		③		④	

○これまでの取組などの全体説明
○意見交換

○整備案について

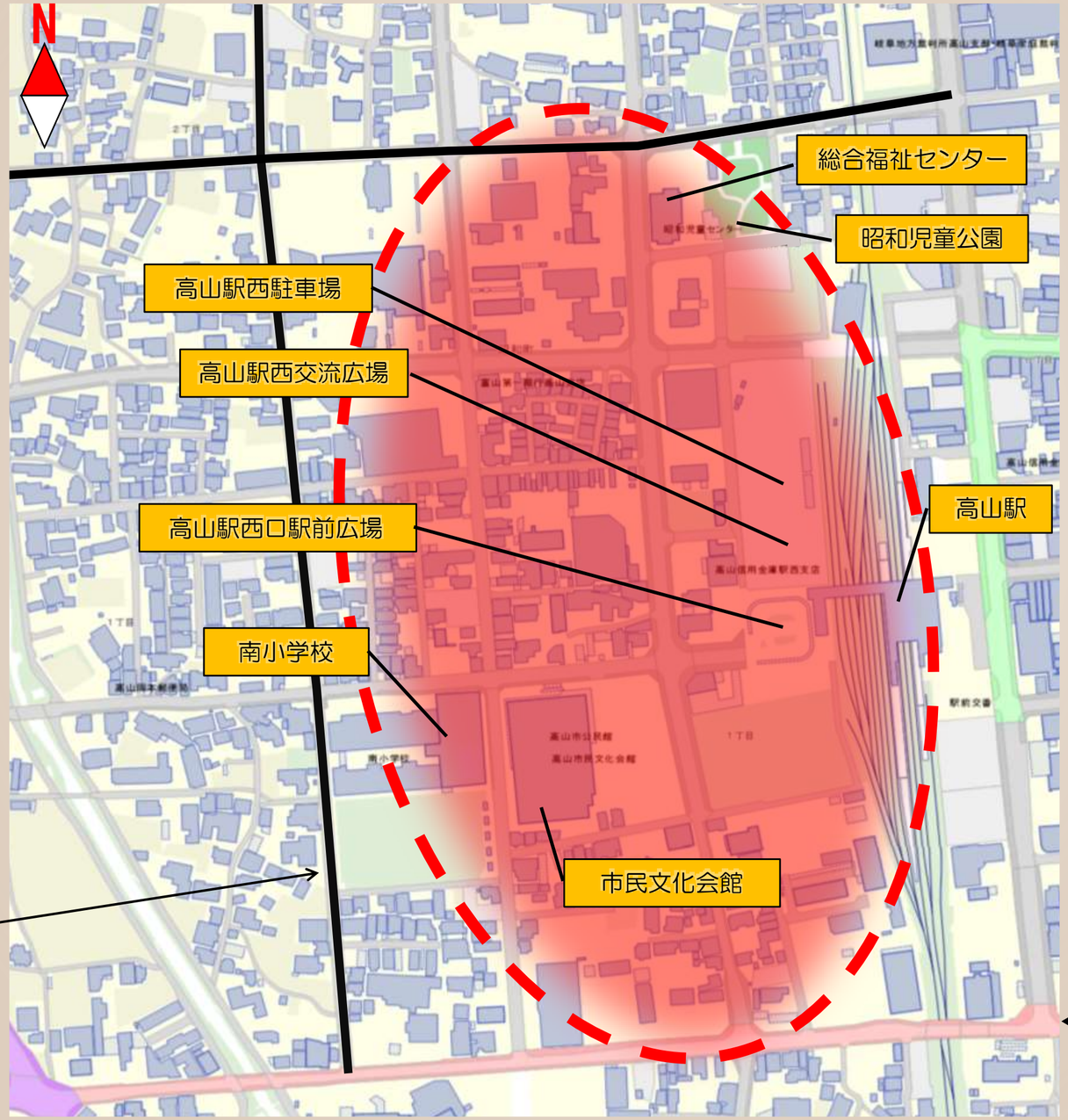
○民事業者との対話・調査の結果について

○骨子について

前提条件の整理

飛騨高山

「高山駅西地区」



市道花岡上岡本線

市道西岡本線

国道１５８号

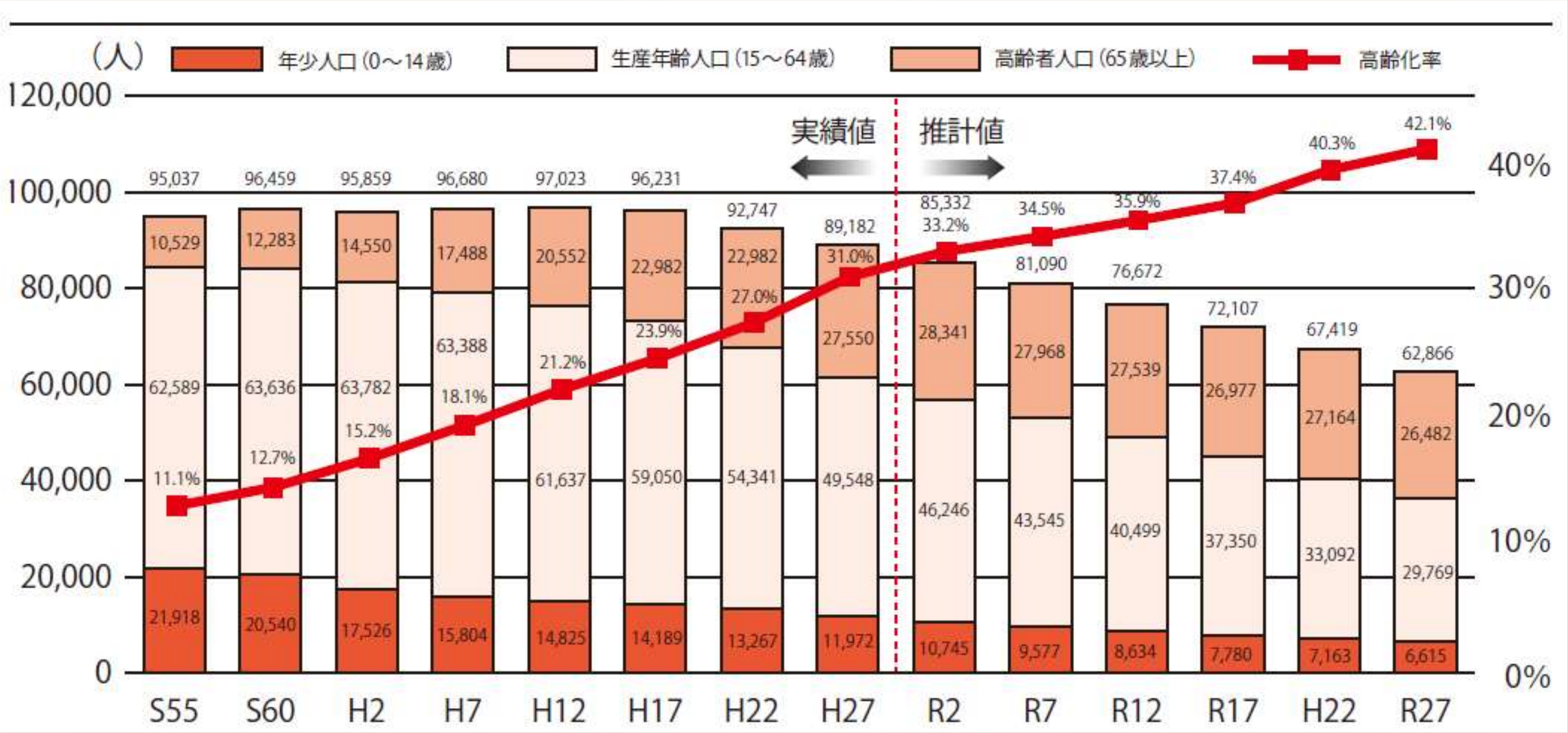
関係する施設

飛騨高山

N
昭和児童公園
総合福祉センター
・昭和老人福祉センター
・身体障がい者福祉センター
・母子福祉センター
・昭和児童センター
高山駅西駐車場/
高山駅西自転車駐車場
・駐車場
平面式駐車場
（普通車130台、大型車10台）
・自転車駐車場
平屋2棟
（定期利用150台、
一時利用50台）
高山駅
市民文化会館・公民館
・大ホール（1,272席）
・小ホール（395席）
・公民館併設
（展示室、大会議室、講堂、
音楽室、調理室、各種会議室）
高山駅西交流広場
高山駅西口駅前広場
勤労青少年ホーム
・女性青少年会館

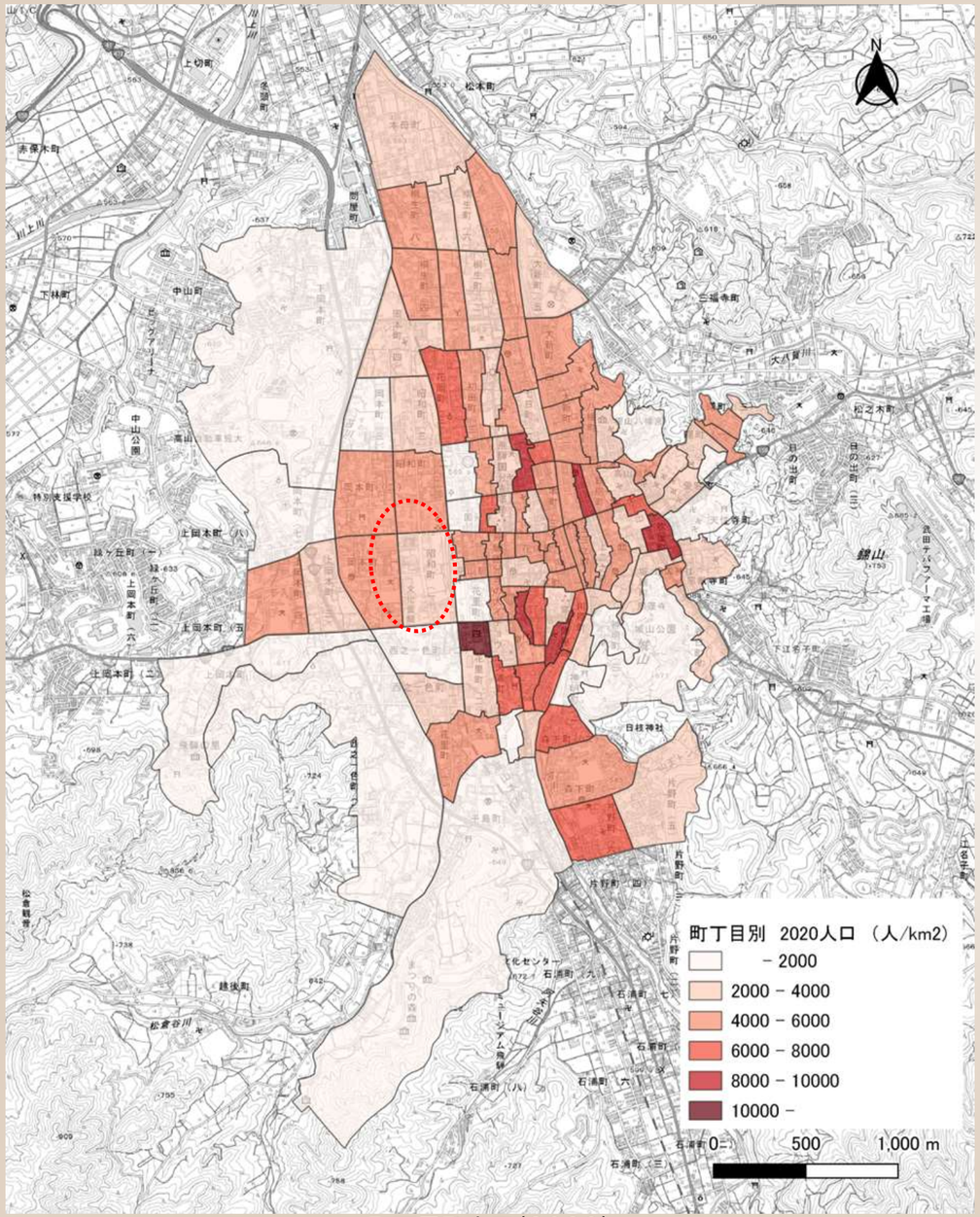
高山市の人口推計

飛騨高山

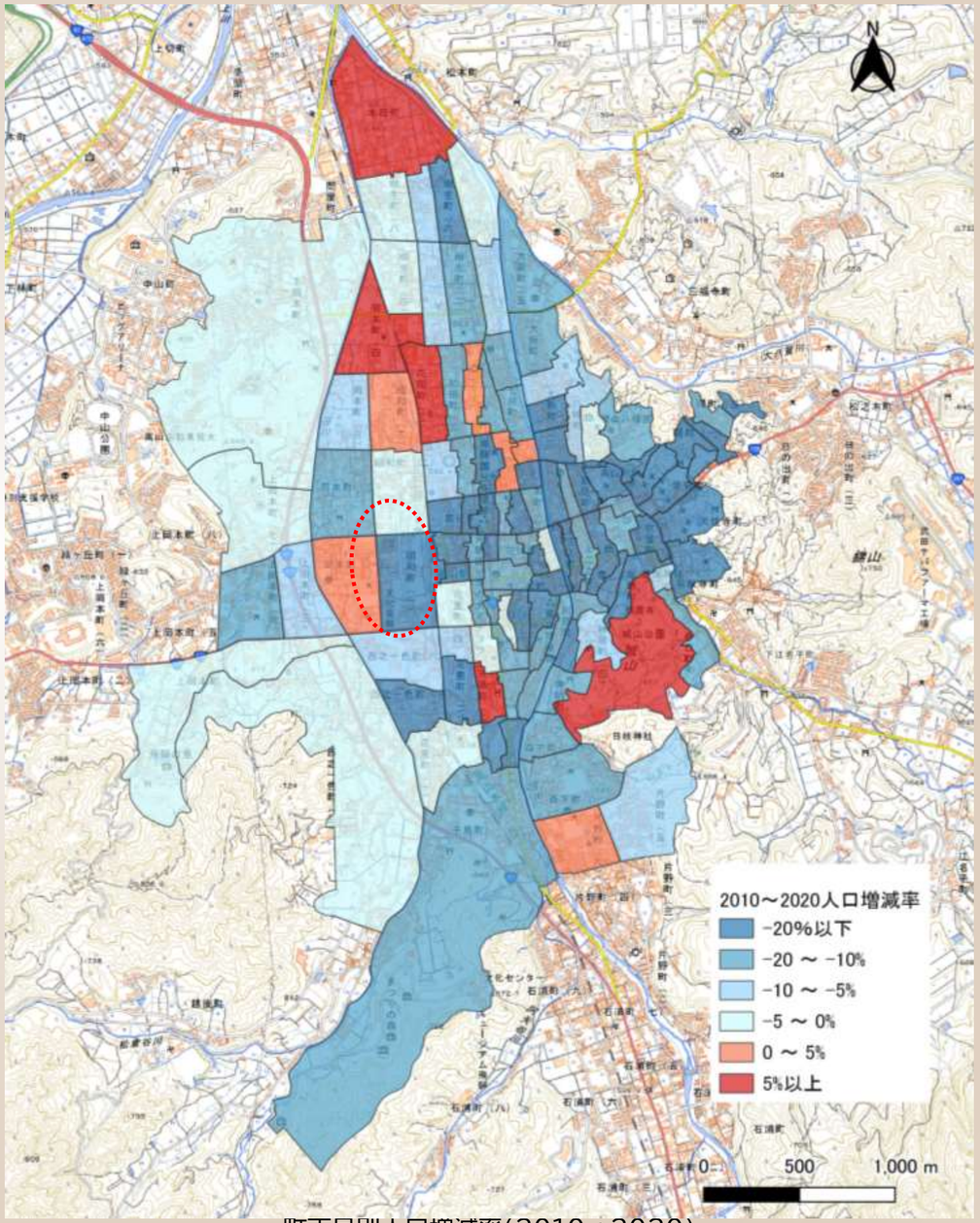


高山市中心部の人口

飛騨高山



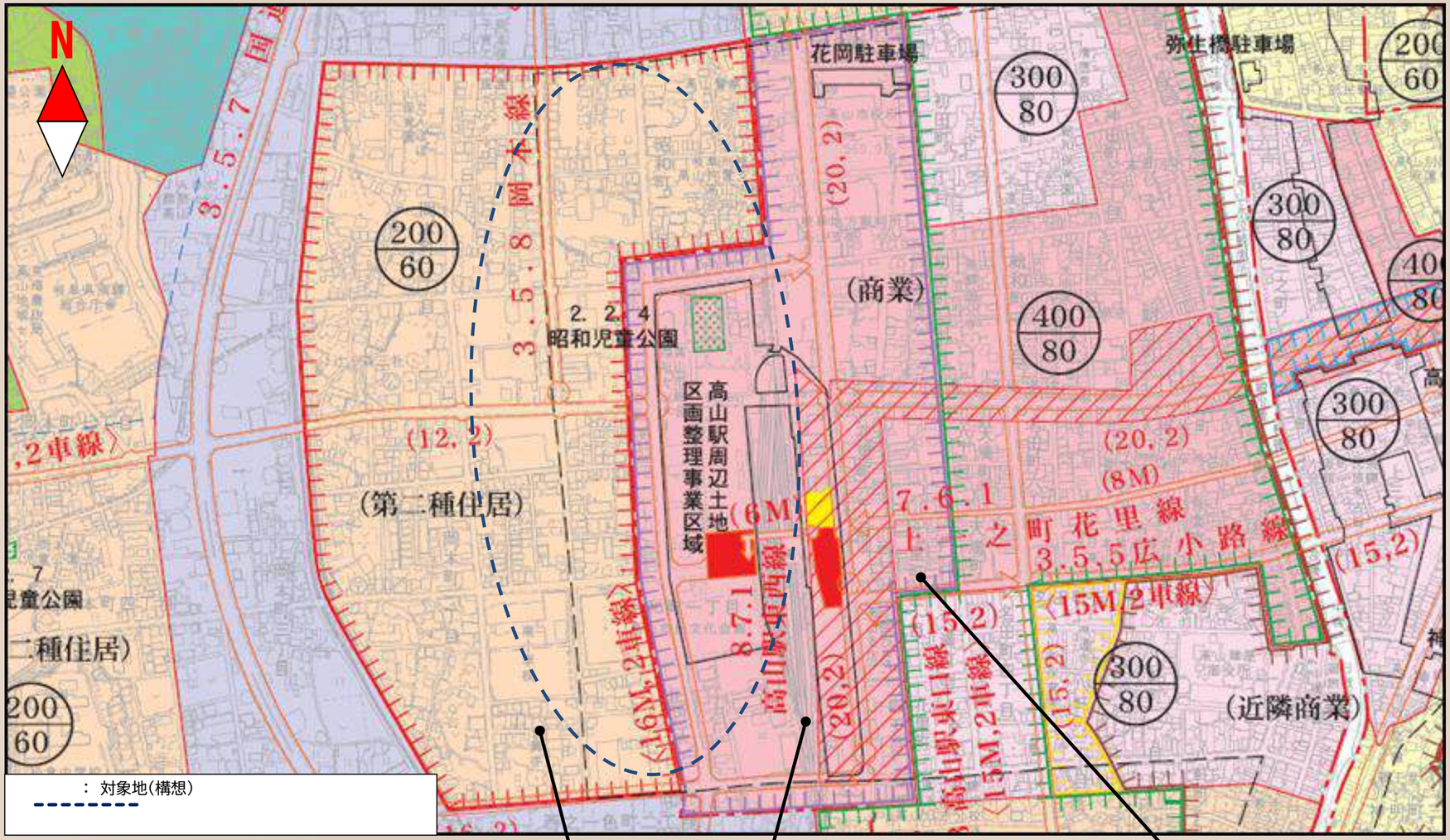
町丁目別人口(2020)



町丁目別人口増減率(2010→2020)

高山市中心部の土地利用状況

飛騨高山



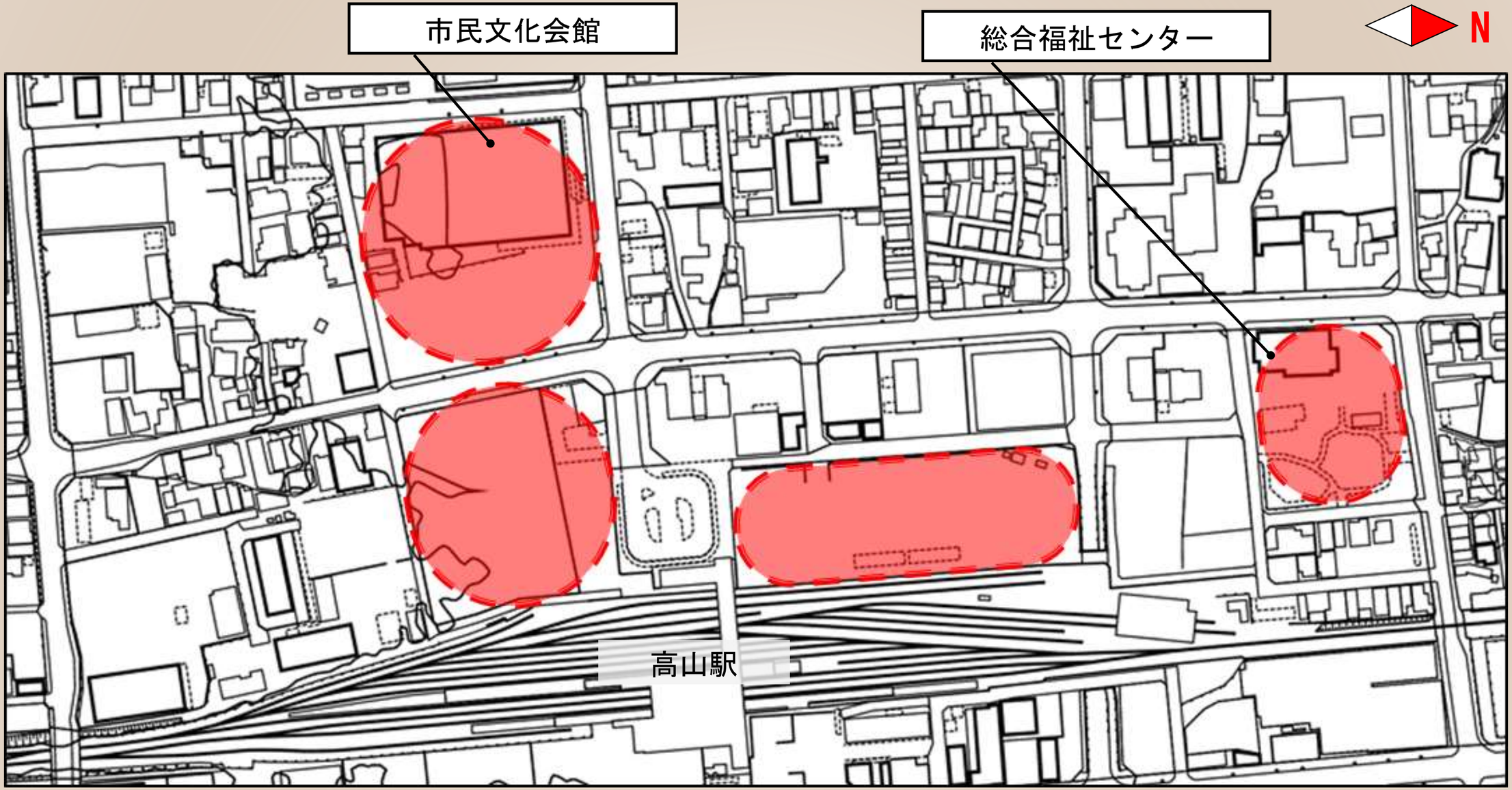
凡例		
区分	表示	備考
都市計画区域		
用途地域		
第一種低層住居専用地域		
第二種低層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域		
第二種中高層住居専用地域		
第一種住居地域		
第二種住居地域		
準住居地域		
近隣商業地域		
商業地域		
準工業地域		大規模集客施設制限地区
工業地域		
工業専用地域		

【第二種住居地域】
建物の高さ制限　２２ｍ

高山駅

【商業地域】
建物の高さ制限　３１ｍ

駅西の土地利用状況



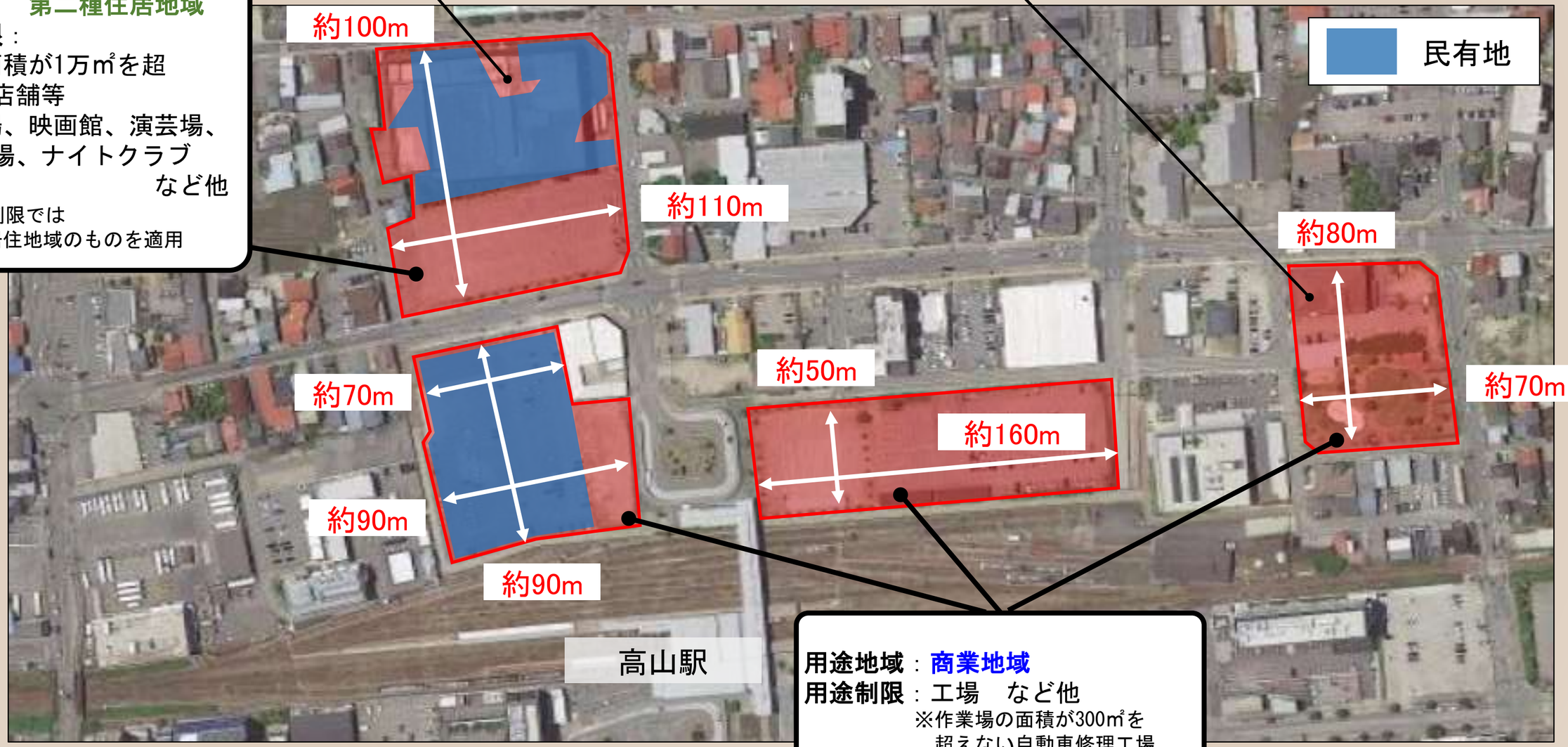
駅西の土地利用状況

飛騨高山

用途地域：商業地域
第二種住居地域

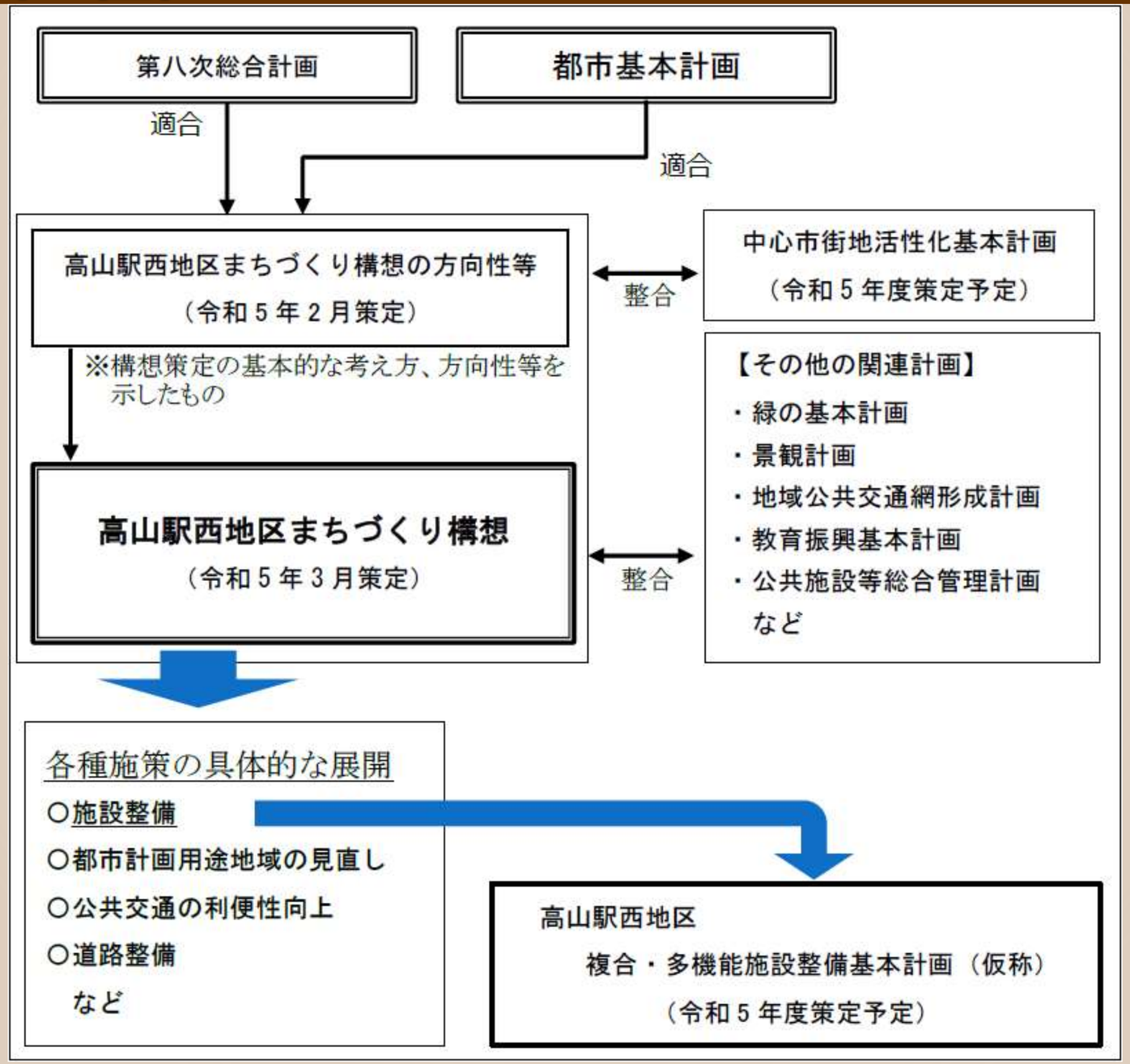
用途制限：
・床面積が1万㎡を超える店舗等
・劇場、映画館、演芸場、観覧場、ナイトクラブ　など他

※用途制限では
第二種居住地域のものを適用



用途地域：商業地域
用途制限：工場　など他
※作業場の面積が300㎡を超えない自動車修理工場、日刊新聞の印刷場を除く

整備基本計画の位置づけ



第八次総合計画

飛騨高山

概要　高山市の最上位計画

計画期間　平成27年度～令和6年度

（高山駅西地区　関連個所）

・ まちづくり戦略に対する具体的な施策として以下を挙げる。

まちづくりの方向性2「心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する」
まちづくり戦略「文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出」

高山駅西地区にて多くの市民が集い、賑わい、安らげる空間と
であい・ふれあいの場を創出する

まちづくりの方向性3「人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる」
まちづくり戦略「利便性の高い都市機能とネットワークの構築」

高山駅西地区における施設整備などにより、
高山駅周辺（中心市街地）の活性化を図る

高山市都市基本計画

飛騨高山

概要 「コンパクトな拠点をネットワークで結ぶ都市構造」を目指す。

計画期間 令和3年～概ね30年

（高山駅西地区　関連個所）

- 商業・業務機能の充実のため、高山駅西地区において商業系用途地域への変更を検討する。

- 高山駅西地区における施設整備などにより、JR高山駅周辺の活性化を図る。

図．目指すべき都市構造のイメージ

高山市駐車場整備計画

飛騨高山

概要　駐車場整備に関する施策を総合的かつ計画的に実行することを目的に策定。

目標年次　令和6年度

（高山駅西地区　関連個所）

- 市営天満駐車場、市営不動橋駐車場、市営高山駅西駐車場に駐車し、観光特化型バス「匠バス」を利用した場合の駐車料金割引を実施するとともに効果的なPRにより中心市街地中心部への車両流入を抑制する。
- 市営天満駐車場、市営不動橋駐車場、市営高山駅西駐車場の（大型車が駐車可能な駐車場としての）配置を維持するとともに、利用促進を図る。
- 市営高山駅西駐車場において、大型バスを含む一定の供給量を確保するとともに、観光特化型バス「匠バス」利用時の駐車料金割引制度の導入などにより利用促進を図る。
- 民間駐車場の動向を把握し、供給過多により、まちの魅力低下につながる場合には、市営駐車場の有効性を検証するとともに土地利用転換について検討する。
- 市営天満駐車場、市営不動橋駐車場、市営高山駅西駐車場の「パークアンドライド・パークアンドウォーク駐車場」としての位置づけを明確化し、当該駐車場利用者に対する観光施設の割引の実施など、さらなるインセンティブの付与を検討する。
- 市営駐車場の場所に応じた駐車料金の変更を検討する。

高山市公共施設等総合管理計画

飛騨高山

概要 公共施設のあり方についての検討を行い、総合的かつ計画的に公共施設を管理・運営することを目的に策定

計画期間 平成29年度～概ね30年間

（統廃合、複合化・多機能化の実施方針）

位置づけ 効率的で効果的なサービスの提供をベースに、必要に応じた統廃合、複合化・多機能化を実施

① 施設の利用状況が明らかに少ない場合や減少傾向にある場合、利用者一人当たりに対するコストが大きい場合等については、多目的への用途転用や廃止を検討の上、必要に応じて施設の統廃合を実施する。

② 利用者のニーズやサービスのあり方を検証し、効率的で効果的な行政サービスが提供できるよう、施設の複合化や多機能化を実施する。

③ 民間施設と公共施設との役割や機能を合わせて検討することで、官民がそれぞれに効率的で効果的なサービスが提供できる場合は、施設の複合化や多機能化を実施する。

高山市公共施設等総合管理計画

飛騨高山

施設名	施設のあり方			施設の整備等	
	方針	考え方	時期	方針	時期
高山市公民館	継続	・社会教育や市民活動に関する団体などが活動する生涯学習の拠点施設として継続配置をし、引き続き行政による管理・運営を行う。 ・施設の老朽化等による更新あるいは近隣施設の整備の際には、施設の統廃合や機能の集約化を図る。	-	更新等	短期 (2023)
高山市民文化会館	継続	・当該施設は老朽化が進んでいるため、新施設の整備を進める。なお、整備にあたっては、他施設との複合化や多機能化を図る。 ・駅西地区におけるまちづくりを検討する中で、当該施設のあり方を検討する。	-	更新等	短期 (2023)
高山市勤労青少年ホーム	継続	・他の施設にて同様の機能を継続できる場合は移転し、既存施設については解体する。	-	解体	中期
高山市女性青少年会館	継続		-	解体	中期
高山市総合福祉センター	継続	・引き続き行政による管理・運営を行う。ただし、市民福祉の拠点としてのあり方も含め、駅西地区に整備するほかの施設の検討と併せ、当該施設のあり方について検討する。	-	更新等	短期 (2023)
高山市役所(本庁舎)	継続	・施設の更新にあたっては、他施設との複合化・多機能化を視野に、行政(支所)機能を有する多目的センターとして整備する。	-	更新等	長期
高山駅西口駅前広場	継続	・引き続き行政による管理・運営を行う。	-	-	-
高山駅西交流広場	継続		-	-	-
昭和児童公園	継続		-	-	-
市営高山駅西駐車場	継続		-	-	-
高山駅西自動車駐車場	継続		-	更新等	長期

※施設のあり方における方針

・継　続：
引き続き行政が管理・運営するもの
（建物はそのまま）

※施設の整備等における方針

・更新等：
現在の建物（主たる建物）をそのまま保有し、建物の状態や状況に応じて建て替え、または大規模改修を行うもの

・解　体：
解体・撤去するもの

※実施時期

・短　期：
2020年度～2024年度までの5年間

・中　期：
2025年度～2034年度までの10年間

・長　期：
2035年度～2049年度までの15年間

高山市公共施設等総合管理計画

飛騨高山

概要 公共施設のあり方についての検討を行い、総合的かつ計画的に公共施設を管理・運営することを目的に策定

計画期間 平成29年度～概ね30年間

（民間活力導入の実施方針）

位置づけ PPPなど民間活力導入を実施方針の一つに位置づけ
～公共サービスの質の向上／コスト削減を図る～

① 民間の資本やノウハウを活用するPPP／PFIの導入など、公共施設の管理・運営の手法について研究・検討し、公共サービスの質の向上やコスト縮減を図る。

② 指定管理者制度のあり方の見直しなどにより、公共サービスや施設管理の一層の向上を図る。

③ 市が保有する必要性がなく、民間での有効活用が期待できる施設については、民間への譲渡を進める。

高山市公共施設等官民連携(PPP)導入検討方針

飛騨高山

位置づけ

本市における公共施設等の整備等において従来手法に優先的して多様なPPPの導入を検討するため方針

基本姿勢

① 市内業者の参画→要件【市内業者がSPCの構成員】

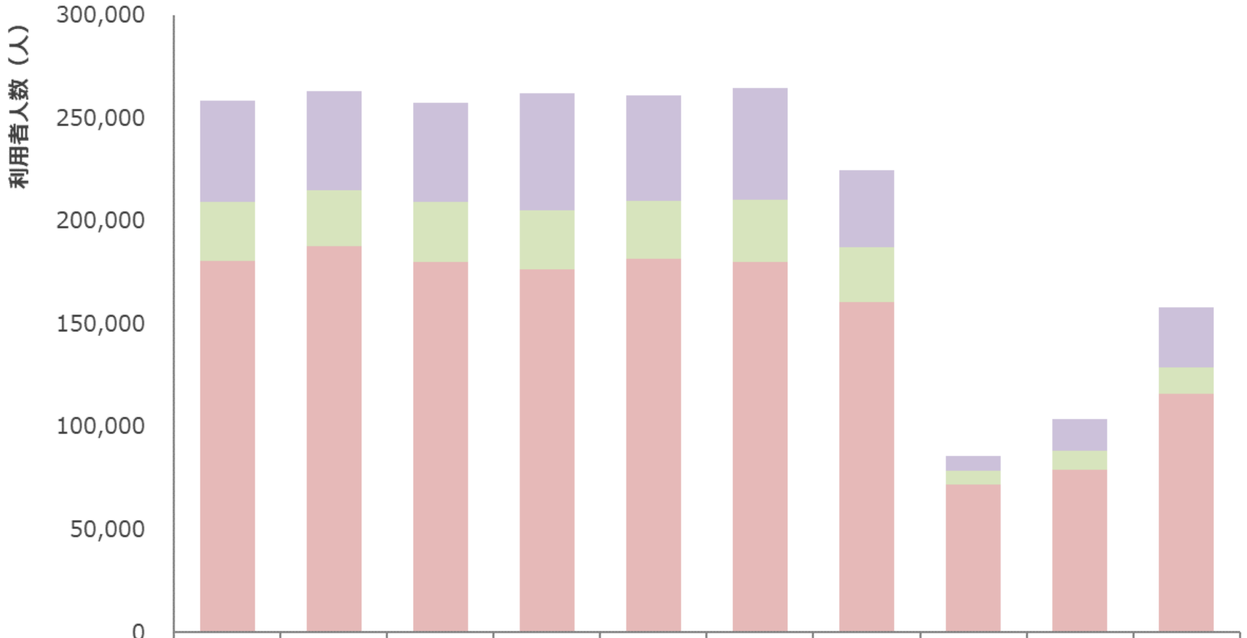
② 市民の雇用促進→要件【前提条件として市民雇用】

「ローカルPPP」に着眼
実績を有する企業だけでなく、
地元企業の参画可能性を高めるスキームの構築などに留意

※「ローカルPPP」とは、地域経済の活性化に寄与するPPPのことを指す。

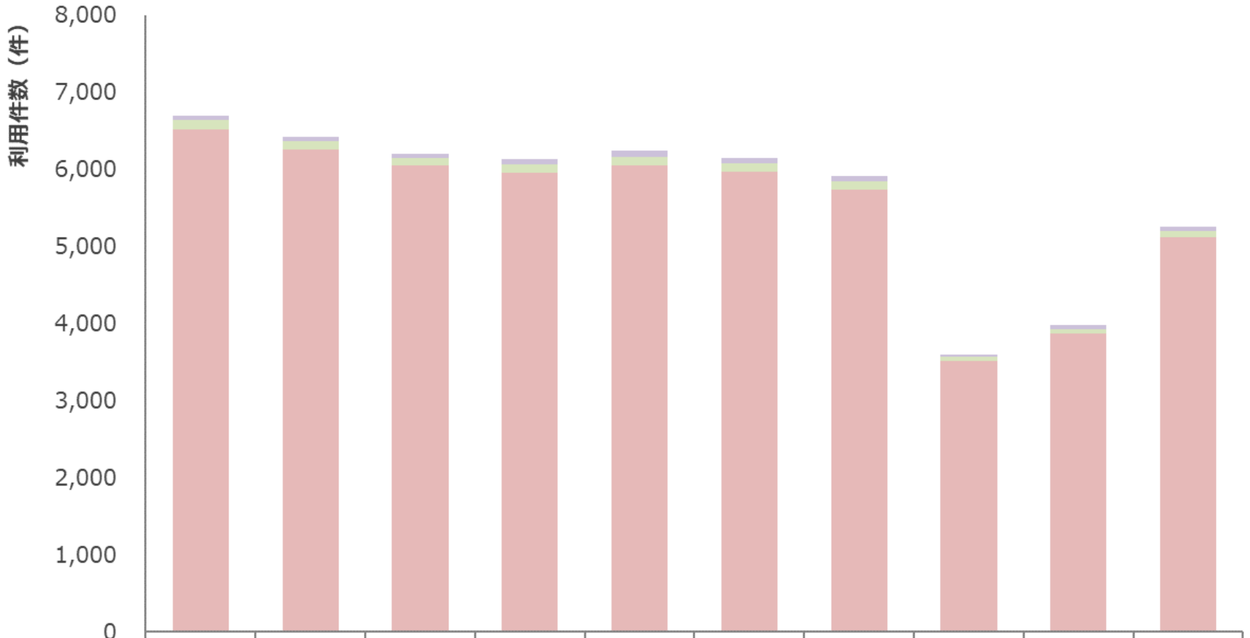
各施設の利用状況　市民文化会館

飛騨高山



	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大ホール	49,024	48,306	47,836	56,711	51,231	54,150	37,636	7,053	15,319	29,257
小ホール	28,524	26,993	29,157	28,611	27,913	30,293	26,252	6,575	9,122	12,533
公民館等	180,553	187,626	180,136	176,382	181,512	179,838	160,631	71,981	79,220	116,083
合計	258,101	262,925	257,129	261,704	260,656	264,281	224,519	85,609	103,661	157,873

▲高山市民文化会館・公民館の利用者数推移
（平成25年度～令和4年度）

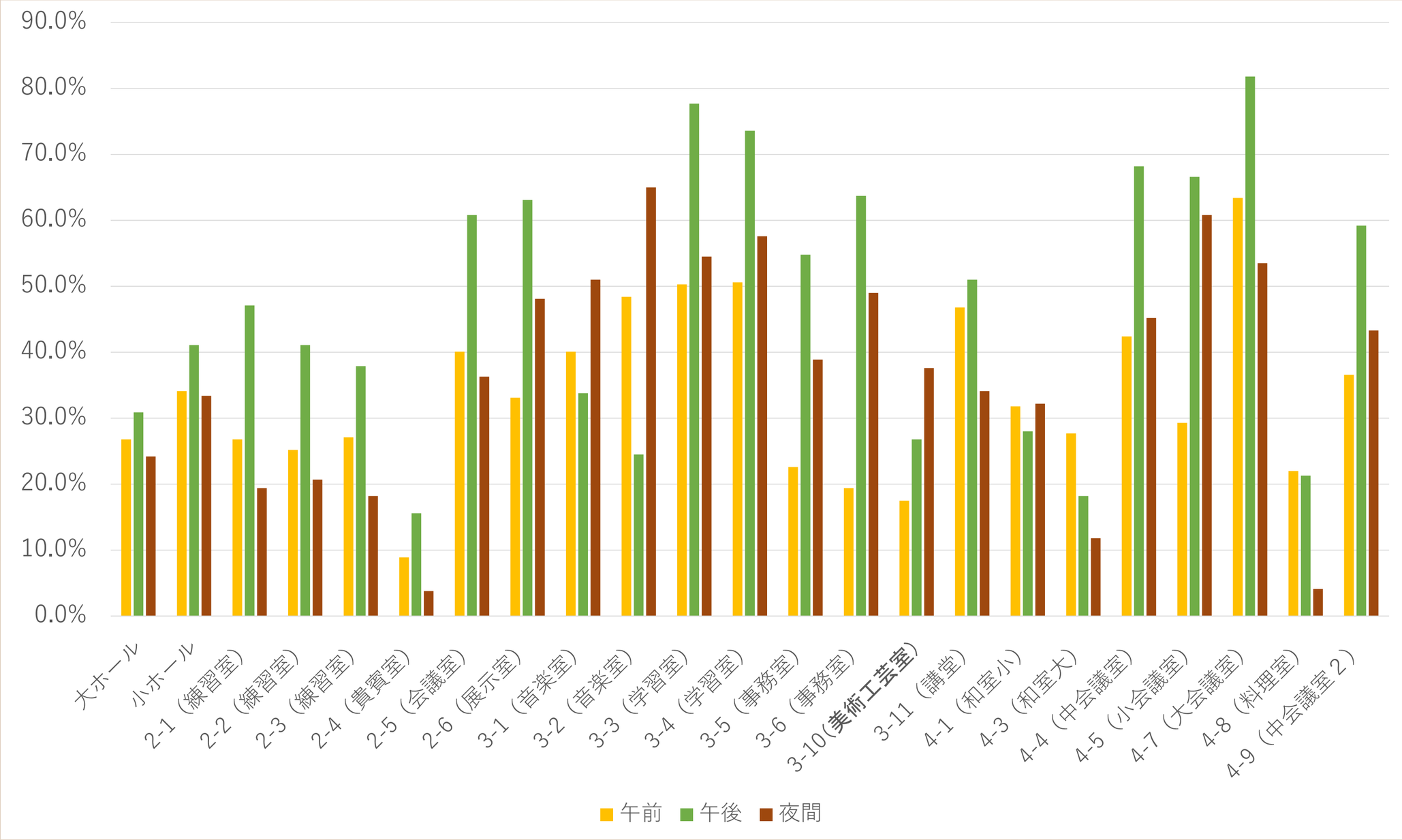


	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大ホール	57	57	52	67	72	67	65	33	58	60
小ホール	125	105	102	104	109	108	109	53	60	76
公民館等	6,511	6,261	6,051	5,955	6,055	5,969	5,733	3,510	3,869	5,120
合計	6,693	6,423	6,205	6,126	6,236	6,144	5,907	3,596	3,987	5,256

▲高山市民文化会館・公民館の利用件数推移
（平成25年度～令和4年度）

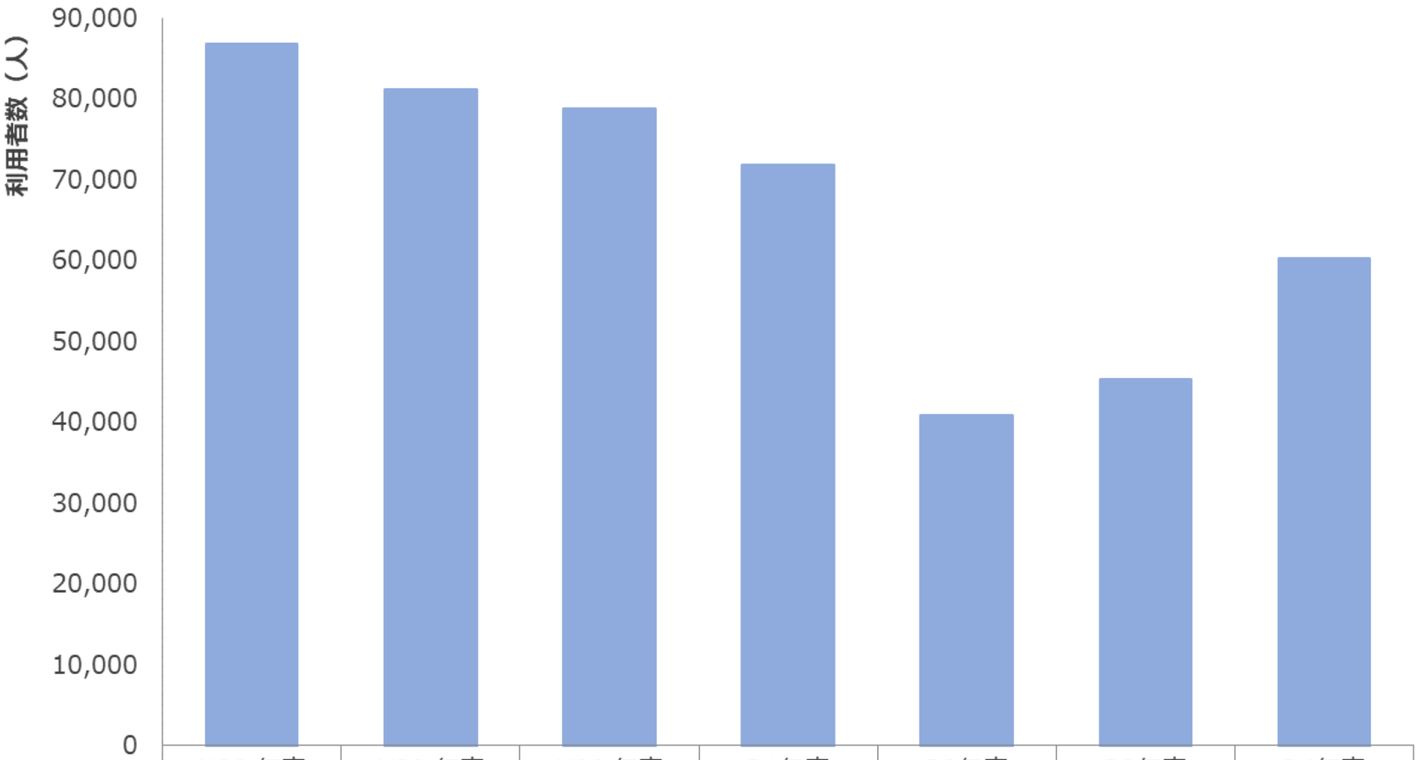
各施設の利用状況　市民文化会館

飛騨高山



各施設の利用状況　総合福祉センター

飛騨高山

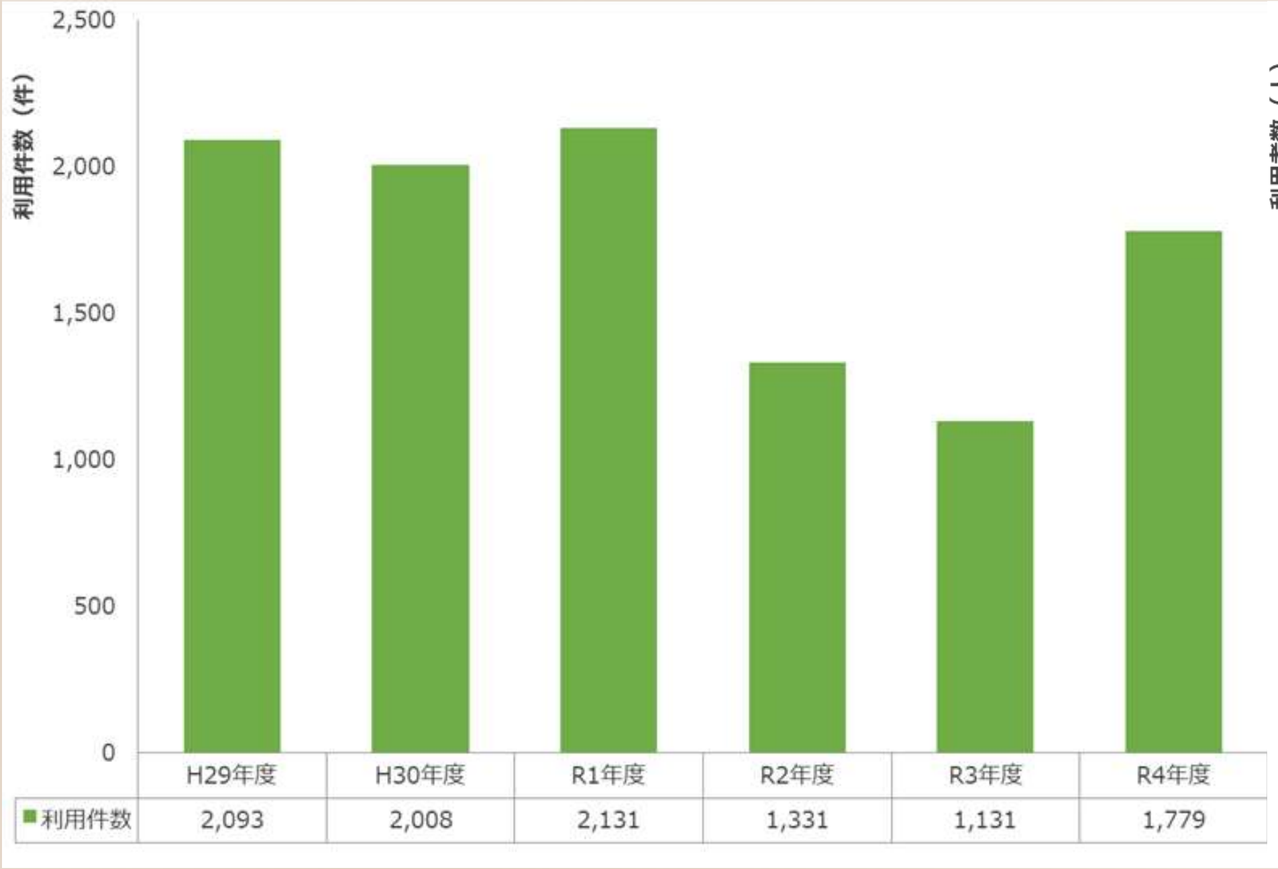


	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	86,710	81,178	78,747	71,850	40,905	45,237	60,280

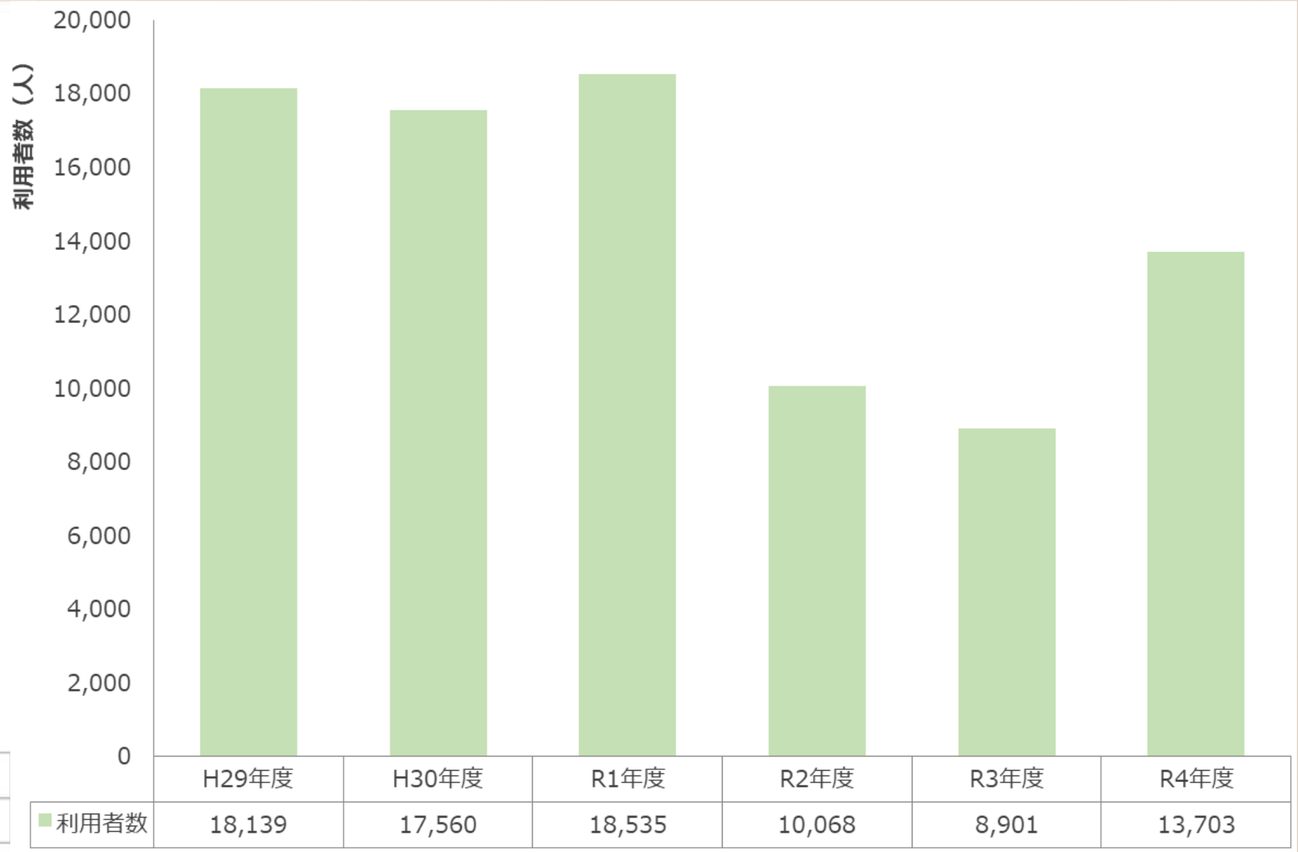
▲総合福祉センターの利用者数の推移（平成28年度～令和4年度）

各施設の利用状況　勤労青少年ホーム・女性青少年会館

飛騨高山



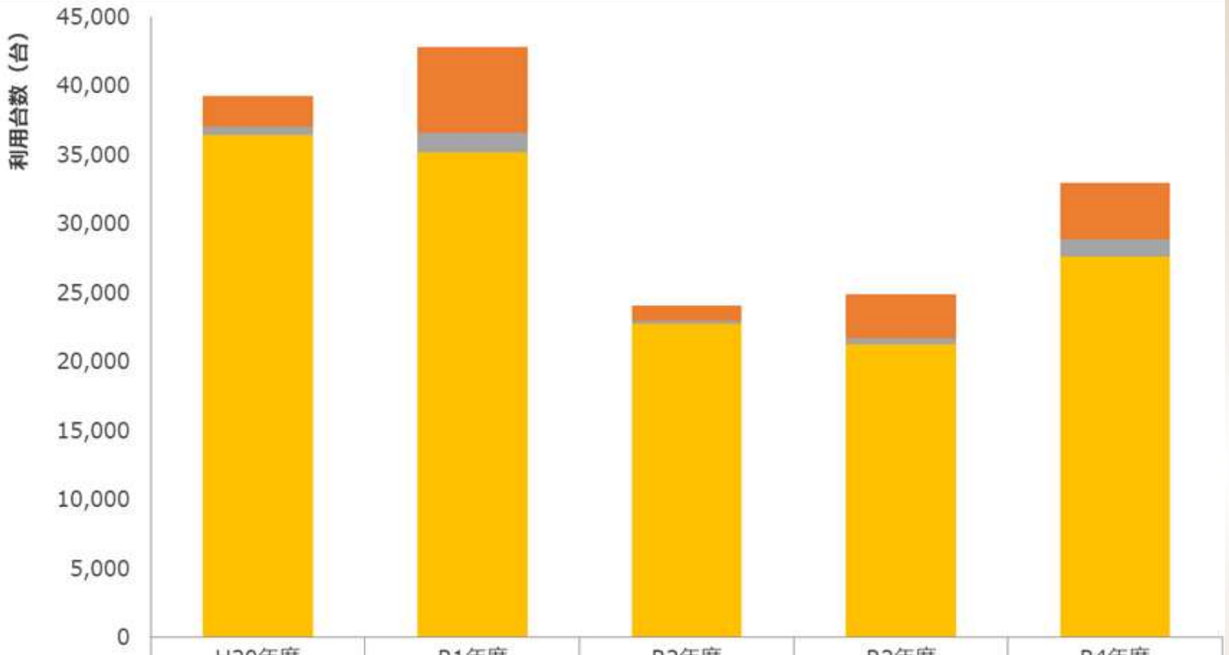
▲勤労青年ホーム・女性青年少年会館の利用件数の推移
（平成29年度～令和4年度）



▲勤労青年ホーム・女性青年少年会館の利用者数の推移
（平成29年度～令和4年度）

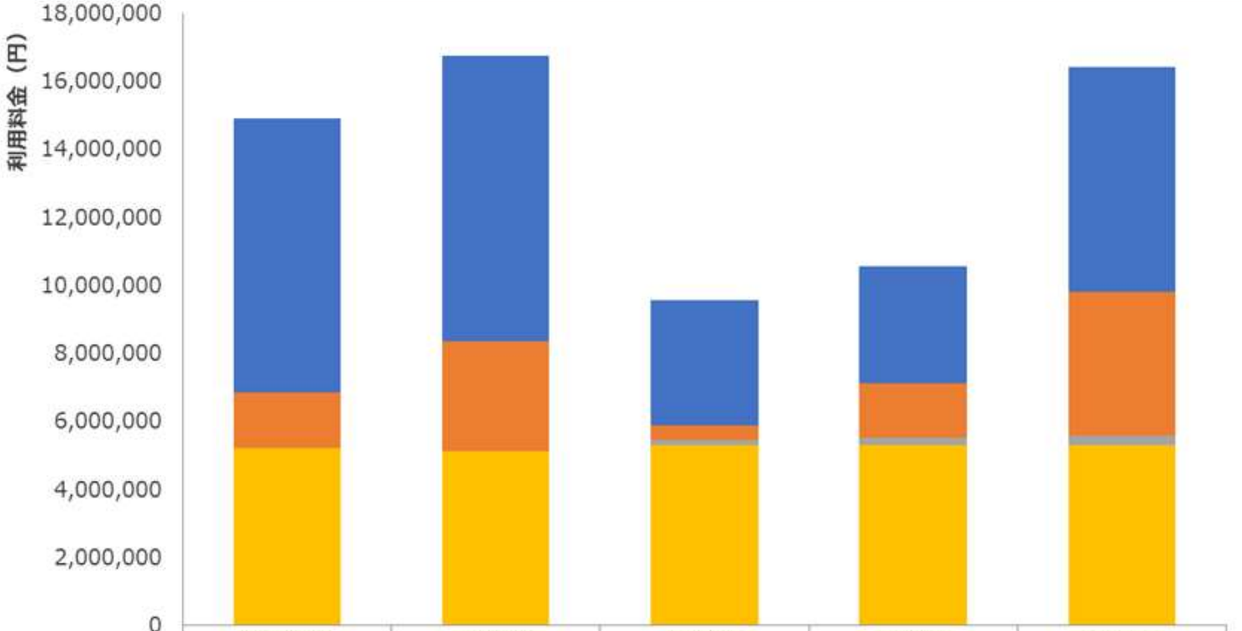
各施設の利用状況　高山駅西駐車場

飛騨高山



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
合計	39,261	42,786	24,088	24,882	32,946
無料駐車	2,214	6,212	1,114	3,188	4,050
バス・大型車	622	1,381	231	477	1,257
普通車	36,425	35,193	22,743	21,217	27,639

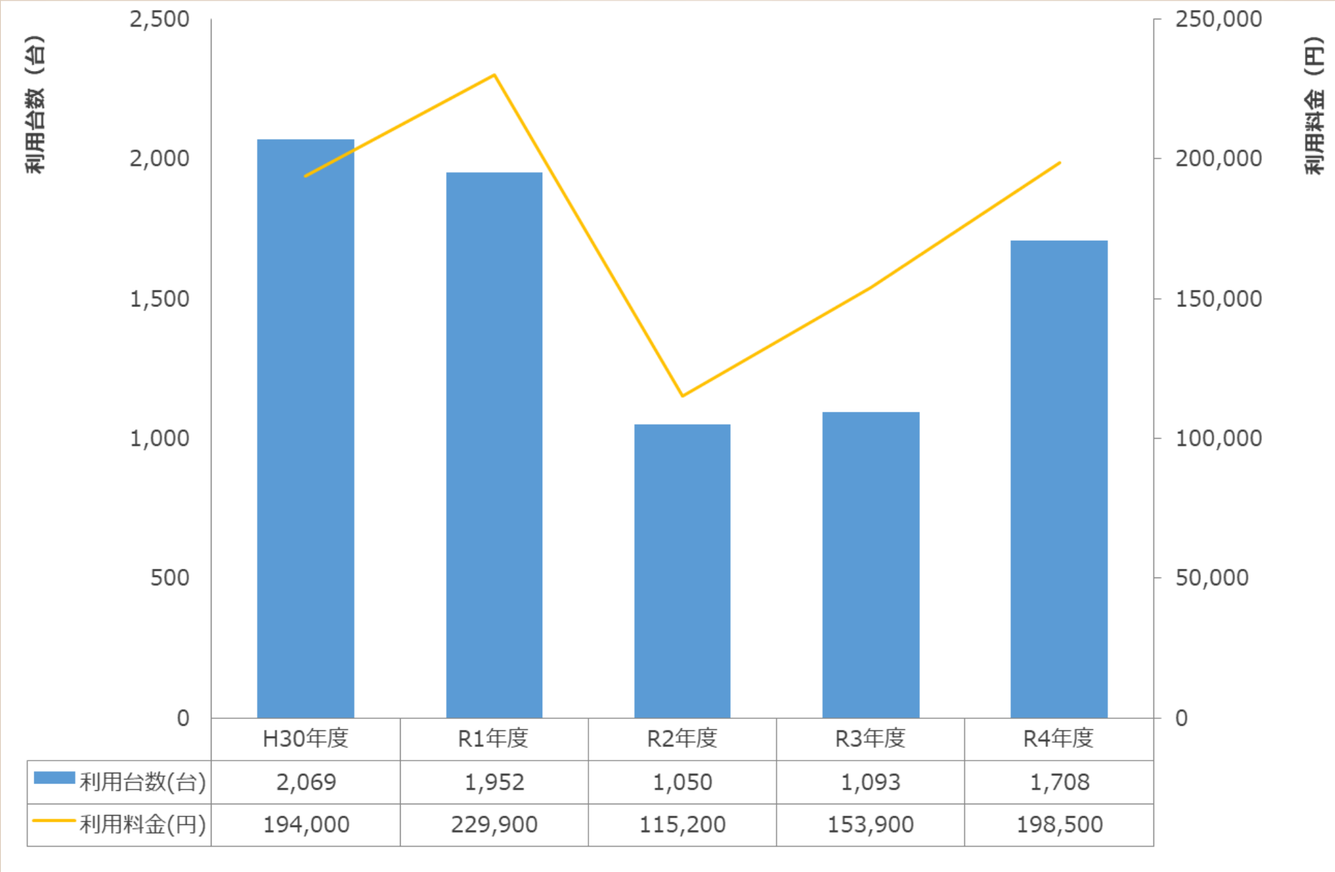
▲高山駅西駐車場の利用台数の推移
（平成30年度～令和4年度）



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
合計	14,904,730	16,725,410	9,567,000	10,556,300	16,423,110
普通車	8,069,010	8,357,200	3,690,900	3,445,350	6,631,250
バス・大型車	1,632,000	3,235,200	423,000	1,581,450	4,221,890
回数券	0	0	141,300	224,510	259,050
定期駐車	5,203,720	5,133,010	5,311,800	5,304,990	5,310,920

▲高山駅西駐車場の利用料金の推移
（平成30年度～令和4年度）

各施設の利用状況　高山駅西自転車駐車場



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用台数(台)	2,069	1,952	1,050	1,093	1,708
利用料金(円)	194,000	229,900	115,200	153,900	198,500

▲高山駅西自転車駐車場の利用台数・利用料金の推移
（平成30年度～令和4年度）